



経済格差による教育格差の発生

だが、問題はその経済格差が、それぞれのレベルの家庭に生まれた子供たちの教育を受ける機会に影響し、教育格差発生の原因となる可能性が高いことである

そもそも経済的に恵まれた家庭は一般的に教育に関心が高く、幼児期にしっかりとした躰が行わる傾向があり、子供たちが勉学に取り組むメンタリティーを育むことができる

特に最近、公立の小・中・高等学校の教育が、教育自体の質的・量的低下のみならず、いわゆる学級崩壊、暴力教室、いじめなどの問題もあって、経済的に豊かな家庭から敬遠されがちであり、それが、さらに公教育のレベルを低下させている

その結果、経済格差が原因となって教育格差が発生しつつあり、さらに教育格差が経済格差につながるという悪しきサイクルが生じているのではないか（経済格差の固定化）